

学年	領域分野	題材名	教科書ページ	題材のねらいと学習の内容、 〔共通事項〕との関連	評価の観点(規準)	B評価の基準	A評価の基準	学習指導要領	
								各学年の内容	内容の取扱い
1	鑑賞	美術って、何だろう？ 美術を通して学ぶ大切なこと	2～4	東日本大震災に関連した作品や活動を鑑賞しながら、中学校の美術の学習と社会との関連性や、美術の学習活動の目的や意味を考え、美術の学習に意欲的に取り組めるようにする。 〔共〕 :形や色彩、材料、光などの性質およびそれらがもたらす対象のイメージを考えながら、美術の学びと私たちの生きる社会との関連性を考える。	関 :東日本大震災に関連した作品や活動を鑑賞しながら、中学校の美術の学習と社会との関連性や、美術の学習活動の目的や意味について関心をもつ。 鑑 :東日本大震災に関連した作品や活動を鑑賞しながら、中学校の美術の学習と社会との関連性を考え、生活における美術の意味を感じ取り、見方を広げる。	関 :東日本大震災に関連した作品や活動を鑑賞しながら、中学校の美術の学習と社会との関連性や、美術の学習活動の目的や意味について関心をもっている。 鑑 :東日本大震災に関連した作品や活動を鑑賞しながら、中学校の美術の学習と社会との関連性を考え、生活における美術の意味を感じ取り、見方を広げている。	関 :東日本大震災に関連した作品や活動を鑑賞しながら、中学校の美術の学習と社会との関連性や、美術の学習活動の目的や意味について強い関心をもっている。 鑑 :東日本大震災に関連した作品や活動を鑑賞しながら、中学校の美術の学習と社会との関連性を考え、生活における美術の意味を十分に感じ取り、見方を広げている。	B鑑賞 (1)ア 〔共通事項〕 (1)ア、イ	(2) (3) (4)
1	資料	集める・試す・組み立てる	5～7	発想を広げ、思ったことや考えたことを構想したり表現したりするために、材料や資料を集めたり、試したり、組み立てたりする方法を学習し、さまざまな表現につなげる。 〔共〕 :形や色彩、材料などを理解し、対象のイメージをとらえる学習を行うために有効なさまざまな方法を学ぶ。				A表現 (1)ア、イ (3)ア、イ B鑑賞 (1)ア 〔共通事項〕 (1)ア、イ	(1)ア (2) (3)
1	絵・彫刻	ものを見つめる 形や色彩を観察しよう	8・9	身のまわりにあるものや自然物をよく観察し、スケッチなどで表すことにより美しさや造形的なおもしろさなどを感じ取る。 〔共〕 :形や色彩、光などの性質を通して身のまわりにあるものや自然物の美しさ、造形的なおもしろさを表し、イメージをとらえる。	関 :身のまわりにあるものや自然物などを観察して表現することに関心をもつ。 発 :身のまわりにあるものや自然物などを観察し、発見したことや気づいたことから発想し表現する。 創 :対象の形や色彩などの観察を通して、材料や用具を生かし、工夫する。 鑑 :身のまわりにあるものや自然物の美しさや造形的なおもしろさを感じ取る。	関 :身のまわりにあるものや自然物などを観察して表現することに関心をもっている。 発 :身のまわりにあるものや自然物などを観察し、発見したことや気づいたことから発想している。 創 :対象の形や色彩などの観察を通して、材料や用具を生かし、創意工夫して表現している。 鑑 :身のまわりにあるものや自然物の美しさや造形的なおもしろさを感じ取っている。	関 :身のまわりにあるものや自然物などを注意深く観察して表現することに強い関心をもっている。 発 :身のまわりにあるものや自然物などを注意深く観察し、発見したことや気づいたことから発想している。 創 :対象の形や色彩などの綿密な観察を通して、材料や用具を十分に生かし、創意工夫して効果的に表現している。 鑑 :身のまわりにあるものや自然物の美しさや造形的なおもしろさを独自の視点で十分に感じ取っている。	A表現 (1)ア (3)ア B鑑賞 (1)ア 〔共通事項〕 (1)ア、イ	(1)ア (2) (3)
1	絵・彫刻	心ひかれる風景 形や色彩、光から見つけた場所	10～15	身近な風景の中によさや美しさを感じ取り、主体的に表現する。 〔共〕 :身近な風景の形や色彩、光のよさや美しさを感じ取り、それらの特徴をもとに、風景のイメージをとらえる。	関 :身近な風景を見つめ、感じ取った形や色彩の特徴、美しさなどを表現することに関心をもつ。 発 :身近な風景を見つめ、感じ取った形や色彩の特徴、美しさなどをもとに主題を生み出す。 創 :形や色彩などの表し方を身につけ、意図に応じて材料や用具の生かし方などを考え、工夫する。 鑑 :作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、自分の思いや考えをもって鑑賞する。	関 :身近な風景を見つめ、感じ取った形や色彩の特徴、美しさなどを表現することに関心をもっている。 発 :身近な風景を見つめ、感じ取った形や色彩の特徴や美しさなどをもとに主題を生み出している。 創 :形や色彩などの表し方を身につけ、意図に応じて材料や用具の生かし方などを考え、工夫している。 鑑 :作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、自分の思いや考えをもって鑑賞している。	関 :身近な風景を注意深く見つめ、感じ取った形や色彩の特徴や美しさなどを表現することに強い関心をもっている。 発 :身近な風景を注意深く見つめ、感じ取った形や色彩の特徴、美しさなどをもとに、独創的な主題を生み出している。 創 :形や色彩などの表し方を十分に身につけ、意図に応じて材料や用具の生かし方などを考え、創意工夫して効果的に表現している。 鑑 :作者の心情や意図と表現の工夫などを十分に感じ取り、独創的で創造性豊かな自分の思いや考えをしっかりとって鑑賞している。	A表現 (1)ア、イ (3)ア、イ B鑑賞 (1)ア 〔共通事項〕 (1)ア、イ	(1)ア、イ (2) (3)

学年	領域分野	題材名	教科書ページ	題材のねらいと学習の内容、 〔共通事項〕との関連	評価の観点(規準)	B評価の基準	A評価の基準	学習指導要領	
								各学年の内容	内容の取扱い
1	鑑賞	比べてみよう	16・17	二つの作品を比較して鑑賞し、それぞれの作品のもつ造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、見方を広げ、美術文化の特性やよさなどに気づく。 〔共〕:二つの作品を比較しながら、形や色彩などに着目し、作品のもつイメージをとらえる。	関:二つの作品を比較して鑑賞し、それぞれの作品のもつ造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などに関心を持ち、文化の特性やよさなどを感じ取る。 鑑:二つの作品を比較しながら、それぞれの作品のもつ造形的なよさや美しさ、作品のもつイメージ、作者の心情や意図と表現の工夫、表現技法における工夫などを感じ取り、自分の思いや考えをもって味わう。	関:二つの作品を比較して鑑賞し、それぞれの作品のもつ造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などに関心を持ち、文化の特性やよさなどを感じ取るようとしている。 鑑:二つの作品を比較しながら、それぞれの作品のもつ造形的なよさや美しさ、作品のもつイメージ、作者の心情や意図と表現の工夫、表現技法における工夫などを十分に感じ取り、独自の創造性豊かな自分の思いや考えを強くもって味わっている。	関:二つの作品を比較して強い興味をもって鑑賞し、それぞれの作品のもつ造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などに強い関心を持ち、文化の特性やよさなどを主体的に感じ取るようとしている。	B鑑賞 (1)ア、イ 〔共通事項〕(1)ア、イ	(2)
1	絵・彫刻	人の形のおもしろさ 動きを見つめて	18～21	人体の動きや姿勢、人体のもつ造形的な美しさや力強さに関心を持ち、主体的に表現する。 〔共〕:形や色彩、材料を意識して人体を造形的に感じながら、人体のイメージをとらえる。	関:人体の動きや姿勢、人体のもつ造形的なよさや美しさ、力強さに関心をもつ。 発:人体の動きや姿勢、人体のもつ造形的なよさや美しさ、力強さをもとに主題を生み出す。 創:意図に応じて材料や用具の生かし方などを考え、工夫する。 鑑:作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、自分の思いや考えをもって鑑賞する。	関:人体の動きや姿勢、人体のもつ造形的なよさや美しさ、力強さに関心をもっている。 発:人体の動きや姿勢、人体のもつ造形的なよさや美しさ、力強さをもとに主題を生み出している。 創:意図に応じて材料や用具の生かし方などを考え、工夫している。 鑑:作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、自分の思いや考えをもって鑑賞している。	関:人体の動きや姿勢、人体のもつ造形的なよさや美しさ、力強さに強い関心をもっている。 発:人体の動きや姿勢、人体のもつ造形的なよさや美しさ、力強さをもとに独自の主題を生み出している。 創:意図に応じて材料や用具を十分に生かして、創意工夫して効果的に表現している。 鑑:作者の心情や意図と表現の工夫などを十分に感じ取り、自分の思いや考えをしっかりとって鑑賞している。	A表現 (1)ア、イ (3)ア、イ B鑑賞(1)ア 〔共通事項〕(1)ア、イ	(1)ア (2) (3)
1	絵・彫刻	彫刻動物園 生き生きとした立体に表す	22・23	動物のもつ造形的な美しさや力強さ、おもしろさやかわいらしさに関心を持ち、動きや特徴をとらえながら材料を生かして主体的に表現する。 〔共〕:形や色彩、材料を意識して動物を造形的にとらえ、対象のイメージを生かして表現する。	関:動物のもつ造形的な美しさや力強さ、おもしろさやかわいらしさに関心をもつ。 発:動物のもつ造形的な美しさや力強さ、おもしろさやかわいらしさ、動きや特徴をもとに主題を生み出す。 創:意図に応じて材料や用具の生かし方などを考え、工夫する。 鑑:作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、自分の思いや考えをもって鑑賞する。	関:動物のもつ造形的な美しさや力強さ、おもしろさやかわいらしさに関心をもっている。 発:動物のもつ造形的な美しさや力強さ、おもしろさやかわいらしさ、動きや特徴をもとに主題を生み出している。 創:意図に応じて材料や用具の生かし方などを考え、工夫している。 鑑:作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、自分の思いや考えをもって鑑賞している。	関:動物のもつ造形的な美しさや力強さ、おもしろさやかわいらしさに強い関心をもっている。 発:動物のもつ造形的な美しさや力強さ、おもしろさやかわいらしさ、動きや特徴をもとに独自の主題を生み出している。 創:意図に応じて材料や用具を十分に生かして、創意工夫して効果的に表現している。 鑑:作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、自分の思いや考えをもって鑑賞している。	A表現 (1)ア、イ (3)ア、イ B鑑賞 (1)ア 〔共通事項〕 (1)ア、イ	(1)ア、イ (2) (3) (4)

学年	領域分野	題材名	教科書ページ	題材のねらいと学習の内容、 〔共通事項〕との関連	評価の観点(規準)	B評価の基準	A評価の基準	学習指導要領	
								各学年の内容	内容の取扱い
1	絵・彫刻	不思議昆虫図鑑 材料の特性を生かして	24・25	昆虫などの生物がもつ造形的な美しさや力強さ、おもしろさに関心を持ち、材料を効果的に生かして主体的に表現する。 〔共〕:形や色彩、材料を意識して昆虫などの生物を造形的に観察し、対象のイメージをとらえて表現する。	関:昆虫などの生物がもつ造形的な美しさや力強さ、おもしろさに関心をもつ。 発:昆虫などの生物がもつ造形的なよさや美しさ、力強さをもとに主題を生み出す。 創:意図に応じて材料や用具の生かし方などを考え、工夫する。 鑑:作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、自分の思いや考えをもって鑑賞する。	関:昆虫などの生物がもつ造形的な美しさや力強さ、おもしろさに関心をもっている。 発:昆虫などの生物がもつ造形的なよさや美しさ、力強さをもとに主題を生み出している。 創:意図に応じて材料や用具の生かし方などを考え、工夫している。 鑑:作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、自分の思いや考えをもって鑑賞している。	関:昆虫などの生物がもつ造形的な美しさや力強さ、おもしろさに強い関心をもっている。 発:昆虫などの生物がもつ造形的なよさや美しさ、力強さをもとに独創的な主題を生み出している。 創:表したいイメージをもちながら意図に応じて材料や用具を十分に生かして、創意工夫して効果的に表現している。 鑑:作者の心情や意図と表現の工夫などを十分に感じ取り、自分の思いや考えをしっかりとって鑑賞している。	A表現 (1)ア、イ (3)ア、イ B鑑賞 (1)ア 〔共通事項〕 (1)ア、イ	(1)ア、イ (2) (3) (4)
1	鑑賞	原寸ギャラリー 伊藤若冲「樹花鳥獣図屏風」	26・27	造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを原寸大の図版から主体的に感じ取り、美術文化に関心をもつ。 〔共〕:形や色彩、材料などに着目し、作品のもつイメージをとらえる。	関:造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などとともに美術文化に関心をもつ。 鑑:形や色彩、表現のしかたなどから、造形的なよさや美しさ、作品のもつイメージ、作者の心情や意図と表現の工夫などを主体的に感じ取り、自分の思いや考えをもって味わう。	関:造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などとともに美術文化に関心をもっている。 鑑:形や色彩、表現のしかたなどから、造形的なよさや美しさ、作品のもつイメージ、作者の心情や意図と表現の工夫などを主体的に感じ取り、自分の思いや考えをもって味わっている。	関:造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などに強い関心もち、それらを主体的に感じ取り、美術文化に強い関心をもっている。 鑑:形や色彩、表現のしかたなどから、造形的なよさや美しさ、作品のもつイメージ、作者の心情や意図と表現の工夫などを主体的に感じ取り、独創的で創造性豊かな自分の思いや考えをしっかりとって味わっている。	B鑑賞 (1)ア、イ 〔共通事項〕 (1)ア、イ	
1	絵・彫刻	表現の広がり さまざまな技法から表現へ	28・29	さまざまな描画の技法を試したり、偶然にできた形や色彩のおもしろさを生かしたりするなどして、工夫しながら発想や構想を広げて主体的に表現する。 〔共〕:材料の特徴や偶然にできた形や色彩の効果を生かし、イメージを広げて表現する。	関:形や色彩の表し方、材料や用具の生かし方などを工夫して表現することに関心をもつ。 発:さまざまな工夫や偶然にできた形や色彩などから発想し、イメージをふくらませて主題を生み出す。 創:偶然できた形や色彩の効果を生かしながら、意図に応じて材料や用具を生かしてさまざまな技法を試み、工夫する。 鑑:造形的なよさや美しさ、作品のイメージ、表現の工夫、表現技法の選択などに注目し、自分の思いや考えをもって味わう。	関:形や色彩の表し方、材料や用具の生かし方などを工夫して表現することに関心をもっている。 発:さまざまな工夫や偶然にできた形や色彩などから発想し、イメージをふくらませて主題を生み出そうとしている。 創:偶然できた形や色彩の効果を生かしながら、意図に応じて材料や用具を生かしてさまざまな技法を試み、工夫している。 鑑:造形的なよさや美しさ、作品のイメージ、表現の工夫、表現技法の選択などに注目し、自分の思いや考えをもって味わっている。	関:形や色彩の表し方、材料や用具の生かし方などを主体的に工夫して意欲的に表現することに強い関心をもっている。 発:さまざまな工夫や偶然にできた形や色彩などから独創性豊かに発想し、イメージを十分にふくらませて主題を生み出そうとしている。 創:偶然できた形や色彩の効果を十分に生かしながら、意図に応じて材料や用具を効果的に生かしてさまざまな技法を試み、創意工夫して創造性豊かに表現している。 鑑:造形的なよさや美しさ、作品のイメージ、表現の工夫、表現技法の選択などに注目し、独創的で創造性豊かな自分の思いや考えをしっかりとって味わっている。	A表現 (1)ア、イ (3)ア、イ B鑑賞 (1)ア 〔共通事項〕 (1)ア、イ	(1)ア (2) (3)

学年	領域分野	題材名	教科書ページ	題材のねらいと学習の内容、 〔共通事項〕との関連	評価の観点(規準)	B評価の基準	A評価の基準	学習指導要領	
								各学年の内容	内容の取扱い
1	絵・彫刻	写し取る形 版表現の楽しさ	30・31	さまざまな版表現を理解し、版に表すことよき楽しさを味わい、工夫しながら発想や構想を広げて表現する。 【共】:版表現を通して形や色彩、材料などがもたらす効果を生かし、対象のイメージをとらえる。	関 :版による表現に関心をもつ。 発 :版の特性を生かしながら発想し、イメージをふくらませて主題を生み出す。 創 :版の特性を生かしながら、意図に応じて材料や用具を生かしてさまざまな技法を試み、工夫する。 鑑 :造形的なよさや美しさ、作品のイメージ、表現の工夫、表現技法の選択などに注目し、自分の思いや考えをもって味わう。	関 :版による表現に関心をもっている。 発 :版の特性を生かしながら発想し、イメージをふくらませて主題を生み出そうとしている。 創 :版の特性を生かしながら、意図に応じて材料や用具を生かしてさまざまな技法を試み、工夫している。 鑑 :造形的なよさや美しさ、作品のイメージ、表現の工夫、表現技法の選択などに注目し、自分の思いや考えをもって味わっている。	関 :版による表現に強い関心をもっている。 発 :版の特性を生かしながら独創性豊かに発想し、イメージを十分にふくらませて主題を生み出そうとしている。 創 :版の特性を十分に生かしながら、意図に応じて材料や用具を効果的に生かしてさまざまな技法を試み、創意工夫して創造性豊かに表現している。 鑑 :造形的なよさや美しさ、作品のイメージ、表現の工夫、表現技法の選択などに注目し、独創的で創造性豊かな自分の思いや考えをしっかりとって味わっている。	A表現 (1)ア、イ (3)ア、イ B鑑賞 (1)ア 〔共通事項〕 (1)ア、イ	(1)ア (2) (3)
1	デザイン・工芸	生活を豊かに 形や色彩を楽しむデザイン	32～37	身近なものの形や色彩について関心もち、生活を豊かにするデザインについて目的や機能を考えて主体的に表現する。 【共】:生活を豊かにするデザインにおける形や色彩などを考えて対象のイメージをとらえる。	関 :生活を豊かにする身近なデザインについて関心をもつ。 発 :目的や機能をもとに、美的感覚を働かせて、形や色彩の効果を生かしながら表現の構想を練る。 創 :形や色彩などの表し方を身につけ、意図に応じて工夫する。 鑑 :目的や機能と形や色彩などの美しさの調和を考えながら、自分の思いや考えをもって味わう。	関 :生活を豊かにする身近なデザインについて関心をもっている。 発 :目的や機能をもとに、美的感覚を働かせて、形や色彩の効果を生かしながら表現の構想を練っている。 創 :形や色彩などの表し方を身につけ、意図に応じて工夫している。 鑑 :目的や機能と形や色彩などの美しさの調和を考えながら、自分の思いや考えをもって味わっている。	関 :生活を豊かにする身近なデザインについて強い関心をもっている。 発 :目的や機能をもとに、美的感覚を働かせて、形や色彩の効果を生かしながら表現の構想を練っている。 創 :形や色彩などの表し方を十分に身につけ、意図に応じて積極的に創意工夫して表現している。 鑑 :目的や機能と形や色彩などの美しさの調和を考えながら、独創的で創造性豊かに自分の思いや考えをしっかりとって味わっている。	A表現 (2)ア、イ、ウ (3)ア、イ B鑑賞 (1)ア、イ 〔共通事項〕 (1)ア、イ	(1)ウ (2) (3) (4)
1	デザイン・工芸	材料を生かして 使う・飾る・遊ぶ	38～43	土や木などを味わいながら日常生活に活用できる工芸作品を制作・鑑賞することにより、自然材料のよさや美しさについて理解する。 【共】:土や木などの材料のもつ形や色彩、材料の特徴などをもとに、イメージをとらえながら工芸作品を制作する。	関 :用途や機能、使用する者の気持ちや材料などから美しさを考えて表現することに関心をもつ。 発 :用途や機能、使用する者の気持ち、材料などから、形や色彩の効果を生かして、表現の構想を練る。 創 :材料の特性を生かして制作の順序などを考えながら、用具の使い方や技法などを工夫する。 鑑 :伝える、使うなどの目的や機能と形や色彩などの美しさの調和を考えながら、作者の思いや願いなどを感じ取り、自分の思いや考えをもって味わう。	関 :用途や機能、使用する者の気持ちや材料などから美しさを考えて表現することに関心をもっている。 発 :用途や機能、使用する者の気持ち、材料などから、形や色彩の効果を生かして、表現の構想を練っている。 創 :材料の特性を生かして制作の順序などを考えながら、用具の使い方や技法などを工夫している。 鑑 :伝える、使うなどの目的や機能と形や色彩などの美しさの調和を考えながら、作者の思いや願いなどを感じ取り、自分の思いや考えをもって味わっている。	関 :用途や機能、使用する者の気持ちや材料などから美しさを考えて表現することに強い関心をもっている。 発 :用途や機能、使用する者の気持ち、材料などから、形や色彩の効果を生かして、表現の構想を練っている。 創 :材料の特性を十分に生かして制作の順序などを十分に考えながら、用具の使い方や技法などを工夫して、表現している。 鑑 :伝える、使うなどの目的や機能と形や色彩などの美しさの調和を考えながら、作者の思いや願いなどを積極的に感じ取り自分の思いや考えを強くもって味わっている。	A表現 (2)ア、イ、ウ (3)ア、イ B鑑賞 (1)ア 〔共通事項〕 (1)ア、イ	(1)ア、エ (2) (3) (4)

学年	領域分野	題材名	教科書ページ	題材のねらいと学習の内容、 〔共通事項〕との関連	評価の観点(規準)	B評価の基準	A評価の基準	学習指導要領	
								各学年の内容	内容の取扱い
1	デザイン・工芸	動きのおもしろさを使って 感謝の気持ちを伝える	44・45	アニメーションの原理を理解し、効果的に活用して伝えたい内容についてわかりやすさやおもしろさを考えて表現する。 〔共〕:形や色彩、材料、光の性質を生かして、アニメーションなどをイメージ豊かに表現しながら制作する。	関:伝えたい内容について、アニメーションなどの技法を考えながら、わかりやすく表現することに関心をもつ。 発:他者の立場に立って、伝えたい内容について、アニメーションなどの技法の効果を生かしてわかりやすさやおもしろさなどを考え、表現の構想を練る。 創:形や色彩などの表し方を身につけ、表したいイメージをもちながら意図に応じてアニメーションなどの技法の効果を考え、創意工夫して表現している。 鑑:伝える、使うなどの目的や機能とアニメーションなどの技法のおもしろさなどの調和を考えながら、作者の思いや願いなどを感じ取り、自分の思いや考えをもって味わう。	関:伝えたい内容について、アニメーションなどの技法を考えながら、わかりやすく表現することに関心をもっている。 発:他者の立場に立って、伝えたい内容について、アニメーションなどの技法の効果を生かしてわかりやすさやおもしろさなどを考え、表現の構想を練っている。 創:形や色彩などの表し方を身につけ、表したいイメージをもちながら意図に応じてアニメーションなどの技法の効果を考え、創意工夫して表現している。 鑑:伝える、使うなどの目的や機能とアニメーションなどの技法のおもしろさなどの調和を考えながら、作者の思いや願いなどを感じ取り、自分の思いや考えをもって味わっている。	関:伝えたい内容について、アニメーションなどの技法を考えながら、わかりやすく表現することに関心をもっている。 発:他者の立場に立って、伝えたい内容について、アニメーションなどの技法の効果を生かしてわかりやすさやおもしろさなどを考え、独創的で他者にもわかりやすい表現の構想を練っている。 創:形や色彩などの表し方を十分に身につけ、表したいイメージを強くもちながら意図に応じてアニメーションなどの技法の効果を考え、創意工夫して創造性豊かに表現している。 鑑:伝える、使うなどの目的や機能とアニメーションなどの技法のおもしろさなどの調和を考えながら、作者の思いや願いなどを積極的に感じ取り、自分の思いや考えを強くもって味わっている。	A表現 (2)ア、イ、ウ (3)ア、イ B鑑賞 (1)ア 〔共通事項〕 (1)ア、イ	(1)イ (2) (3) (4)
1	鑑賞	美しさの交流 自分の見方を大切に	46・47	展示方法を工夫して発表することにより、作品を鑑賞し、そのよさや美しさについて感じたことを友達と説明し合う鑑賞活動の大切さを学び、美術による交流の楽しさやよさ、他者に伝えることの重要性を理解する。 〔共〕:形や色彩、材料などに着目しながら作品のもつイメージをとらえて鑑賞に生かす。	関:美術作品のよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などに関心をもつ。 鑑:美術作品を効果的に発表する活動を通して、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、自分の思いや考えをもって味わう。	関:美術作品のよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などに関心をもっている。 鑑:美術作品を効果的に発表する活動を通して、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、自分の思いや考えをもって味わっている。	関:美術作品のよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などに関心もち、主体的に感じ取ろうとしている。 鑑:美術作品を効果的に発表する活動を通して、作者の心情や意図と表現の工夫などを積極的に感じ取り、自分の思いや考えを強くもって味わっている。	B鑑賞 (1)ア 〔共通事項〕 (1)ア、イ	(2) (4)
1	デザイン・工芸	私の歩み 作品集をデザインする	48・49	美術の学習の記録をもとに、作品集のわかりやすさや美しさを考えて制作し、成長や進歩を確認し、これからの学習活動につなげる。 〔共〕:形や色彩、材料などに着目し、作品のもつイメージをとらえ、効果的な作品集をデザインする。	関:自分の作品をふり返り、今後の学習に生かすための表現に関心をもつ。 発:自分の作品を効果的にふり返るため、美的感覚を働かせて、形や色彩の効果を生かして構成や装飾を考え、表現の構想を練る。 創:意図に応じて材料や用具の生かし方などを考え、工夫する。 鑑:記録し、伝えるなどの目的や機能と、形や色彩などの美しさの調和、作者の心情などを感じ取り、自分の思いや考えをもって味わう。	関:自分の作品をふり返り、今後の学習に生かすための表現に関心をもって主体的に取り組んでいる。 発:自分の作品を効果的にふり返るため、美的感覚を働かせて、形や色彩の効果を生かして構成や装飾を考え、表現の構想を練っている。 創:意図に応じて材料や用具の生かし方などを考え、工夫している。 鑑:記録し、伝えるなどの目的や機能と、形や色彩などの美しさの調和、作者の心情などを感じ取り、自分の思いや考えをもって味わっている。	関:自分の作品を効果的にふり返り、今後の学習に生かすための用途や機能を考え、主体的に工夫して独創的、意欲的に表現しようとしている。 発:自分の作品を効果的にふり返るため、美的感覚を働かせて、形や色彩の効果を生かして構成や装飾を考え、独創的な表現の構想を練っている。 創:意図に応じて材料や用具の生かし方などを十分に考え、創意工夫して独創性豊かに表現している。 鑑:記録し、伝えるなどの目的や機能と、形や色彩などの美しさの調和、作者の心情などを積極的に感じ取り、自分の思いや考えを強くもって味わっている。	A表現 (2)ア、イ、ウ (3)ア、イ B鑑賞 (1)ア 〔共通事項〕 (1)ア、イ	(1)イ (2) (3) (4)

学年	領域分野	題材名	教科書ページ	題材のねらいと学習の内容、 〔共通事項〕との関連	評価の観点(規準)	B評価の基準	A評価の基準	学習指導要領	
								各学年の内容	内容の取扱い
1	資料	パレットコーナー	50・51	<p>絵の具やポスターカラーの扱いなど、造形活動をする上での基礎・基本を学習し、さまざまな表現につなげる。</p> <p>〔共〕:形や色彩、材料などを理解し、対象のイメージをとらえる学習を行うために、必要な道具の使い方の基本を学ぶ。</p>				A表現 (3)ア、イ 〔共通事項〕 (1)ア、イ	
1	資料	道具箱	52～54	<p>道具の使い方など、造形活動をする上での基礎・基本を学習し、さまざまな表現につなげる。</p> <p>〔共〕:形や色彩、材料などを理解し、対象のイメージをとらえる学習を行うために、必要な道具の使い方の基本を学ぶ。</p>				A表現 (3)ア、イ 〔共通事項〕 (1)ア、イ	
1	資料	色彩ホームページ	55～57	<p>色彩についての基礎的な内容を体系的に理解し、興味・関心をもつ。</p> <p>〔共〕:色彩や光の性質などを理解し、対象のイメージをとらえるための基本を学ぶ。</p>				A表現 (3)ア、イ B鑑賞 〔共通事項〕 (1)ア、イ	